

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和8年8月1日発行

4月臨時会
6月定例会

No. 129



(写真) 下川原駒踊り(左)、十和田小学校運動会(中央)、猟友会射撃大会の様子(右)

令和8年度補正予算などを可決 P 2

一般質問には12名が登壇 P 4

各常任委員会の審査状況 P10

常任委員会派遣調査報告・全員協議会・永年勤続表彰 . . P11

NANDARI KANDARI・編集後記 P12

4月臨時会 6月定例会

小中学校気化熱冷風機購入の議案を含む13議案を可決
雪害対策緊急支援事業を含む一般会計補正予算などを可決

4月臨時会

令和8年第4回臨時会を4月22日に行い、市長より議案13件、議員より発議1件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。本臨時会における議案の審議結果は次ページに掲載しています。なお、本臨時会において同意された人事案件は次のとおりです。

人事案件

○教育委員会委員

吉田 孝子氏（再任）

○固定資産評価審査委員会委員

齊藤 策徳氏（再任）

千葉 勉 氏（新任）

主な議案の審議内容

議案第58号 物品の購入について（小中学校気化熱冷風機）

6月定例会

質問 子供たちが使用する体育館に大型の気化熱冷風機を2台置く場合の安全対策はどのように講じる予定か。

答弁 対策は講じなければならないけれど、現時点では冷風機のそばに子供たちが近寄らないよう安全に配慮しながら使用いただくことを想定している。

質問 今後、学校の統廃合が生じた場合、冷風機をどのように扱う想定か。

答弁 キヤスター付きの移動可能なものであることから、仮に統廃合が進んだ場合についても別の学校へ移動しての使用が可能と考えている。

令和8年第4回定例会を6月1日から25日までの25日間の日程で行いました。市長より報告7件、議案19件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員が提出した発議2件についても、原案のとおり可決しました。本定例会に提案された議案等の審議結果や議会に提出された請願・陳情の審査結果について、一覧を次ページに掲載しています。なお、本定例会において同意された人事案件は次のとおりです。

人事案件

○農業委員会委員

阿部 聖 氏（再任）

安保 春喜 氏（再任）

石鳥谷義行 氏（再任）

小笠原正光 氏（再任）

田口 元 氏（再任）
前田 幸栄 氏（新任）
柳沢 誠 氏（再任）
佐藤 博人 氏（再任）
阿部美穂子 氏（新任）
木村 勝行 氏（新任）
妹尾 千夏 氏（再任）
兎澤 悦雄 氏（再任）
成田みゆき 氏（再任）

議会から

関係機関への意見書

6月25日の本会議において、議員より提出された意見書2件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

◆ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを求め意見書

議会中継（ライブ配信・録画配信） スマートフォン・タブレット 視聴のご案内

鹿角市議会の本会議の様子は、パソコン・スマートフォンやタブレットから視聴できます。本会議で議員と市長がどんなことを話しているのか、ぜひご覧ください。

議会の本会議の日程は、「鹿角市メール配信サービス」や「市ホームページ」等で随時お知らせいたします。

議会中継はこちらからご覧ください

市ホームページ

↓
鹿角市議会

↓
議会中継

↓
ライブ配信

↓
議会中継（外部サイト）



または



市ホームページ（鹿角市議会）から議会中継へ

スマートフォン等で二次元コードをスキャンして議会中継

令和8年第3回臨時会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
教育委員会委員の任命について	原案同意
固定資産評価審査委員会委員の選任について(2議案)	原案同意
専決処分の承認を求めることについて(鹿角市市税条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分の承認を求めることについて(鹿角市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第13号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第3号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第3号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第5号))	承認
物品の購入について(小中学校気化熱冷風機)	原案可決
令和8年度鹿角市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
◇議員提出議案	審査結果
鹿角市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

令和8年第4回鹿角市議会定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
継続費繰越計算書について(鹿角市一般会計)	報告
繰越明許費繰越計算書について(鹿角市一般会計)	報告
繰越明許費繰越計算書について(鹿角市介護保険事業特別会計)	報告
事故繰越し繰越計算書について(鹿角市一般会計)	報告
予算繰越計算書について(鹿角市上水道事業会計)	報告
予算繰越計算書について(鹿角市下水道事業会計)	報告
放棄した債権の報告について	報告
農業委員会委員の任命について(13議案)	原案同意
物品の購入について(小中学校学習用コンピュータ端末)	原案可決
物品の購入について(電子黒板)	原案可決
鹿角市印鑑条例の一部改正について	原案可決
鹿角市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
令和8年度鹿角市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
令和8年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
◇議員提出議案	審査結果
地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案可決
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書の提出について	原案可決
◇請願	審査結果
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願	採択
◇陳情	審査結果
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採択
熊の無差別駆除の即時停止および共生政策の実施についての陳情	不採択

問 指定管理料に経済情勢の変化を適切に反映させる仕組みづくりについて伺う。

答 重要な課題の一つとして認識している。サービス向上に資する運営体制の構築について本市の実情に即した在り方を検討する。



害獣対策について

問 人の食物を覚えた熊の出没傾向は次の段階に移行した。獣道と思われる水路からの出沒対策として草刈り管理等はできないか。

答 本市所管の2河川において除草を実施済み。農業用水路の管理は交付金により活動組織の農地維持活動を支援している。

また、自治会等の自発的な除草活動など地域の実情に応じて水路が適切に管理されている。今後も国制度等の情報収集や可能な範囲

での草刈りを継続し、活動組織への支援とあわせた環境づくりに努める。

効率的な行財政運営（市町村合併や道州制）について

問 地方の視点から、合併・道州制議論について市の考えを伺う。

答 慎重な検討が必要であり、合併は現在考えていない。一方で行政運営では医療や教育等のほか各種協議会等によるさらなる広域連携の可能性を探る。近隣自治体との柔軟な連携を進め、市民のウェルビーイングを最優先とした効率的かつ持続可能な行財政運営に全力で取り組む。

質問した項目

- 害獣対策について
- 効率的な行財政運営（市町村合併や道州制）について
- 地元就職の推進について
- 指定管理の現状と公契約条例について
- リチウムイオン電池の回収について
- ほか



録画配信はこちらから

佐藤 大介 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

問 近年のスマートフォンや地図アプリの普及も踏まえ、災害の危険箇所や避難所情報を地図や画像でわかりやすく発信できないか。

答 位置情報や地図、画像を活用したわかりやすい情報発信を検討していく。



自転車交通安全と道路環境整備について

問 青切符制度開始の周知・啓発を今後どう進めていく考えか伺う。

答 鹿角警察署を中心に、チラシ配布や講話、交通安全教室等を展開し効果的な取り組みを進め、安全なまちづくりをしていく。

問 制度改正が先行し、道路環境整備が追いついていない状況はどう受け止め、考えているか伺う。

答 市道のうち自転車通行が禁止の歩道

は駅前中央線、谷地町上中島線、中野陣場線の3路線で国道や県道に關しても多くが歩道走行を認めている。地域の実情に応じ通行環境の整備に努める。

スクールバスと通学の安全について

問 鳥獣被害対策として、地域の実情に応じた停車位置等の柔軟な見直しをできないか。通学時における熊対策をどう考えているか伺う。

答 学校活動や通学にとつて大きな脅威であり、登下校については一義的には保護者の責任で行われるものだが、教育委員会でも様々な対策を講じている。安全第一に適宜必要な対策を実施する。



録画配信はこちらから

問 かつの未来の創り手育成事業の「鹿角市若者議会」の実施に向けた今後の計画は。

答 検討委員会を立ち上げ、方向性や活動内容、委員の役割の共通認識を図り先進事例の調査・研究を行い、課題解決のため議論を深めていく。



録画配信はこちらから



鹿角地域の山林火災の危険について

問 岩手県大槌町では大規模山林火災が発生した。本市でも発生する可能性があると考え、本市の対策を伺う。

答 大規模林野火災への発展は常に認識している。本年1月に大船渡市へ消防団幹部、消防長及び職員を研修派遣した。研修後の市消防団による春の火災想定訓練を見直し、実践的な遠距離送水訓練を実施した。また、山火事防止宣伝パ

レードを実施し、市民に山火事防止を呼びかけている。

問 今年度から医師修学資金貸与制度を利用した医師がかづの厚生病院に就業した。今後も本市での勤務は可能か伺う。

答 今回勤務を開始された医師は岩手医科大学の消化器内科医局に所属している。この制度では、修学資金の返還免除規定があり、大学側にも理解を得ている。この医師のキャリアを鑑みた場合、大学での研修等で一時的に中断もありうるが、通算6年の義務年限までは勤務いただけると思われる。

質問した項目

- 鹿角地域の山林火災の危険について
- かつの未来の創り手育成事業について
- 医師確保対策事業について
- 農業振興ビジョンについて
- 最低賃金の引き上げの影響について
- ほか

成田 哲男 議員 (誠心会)

質問時間 30分

問 人口減少社会における本市の外国人労働者受け入れのための日本語教育の体制整備は。

答 日本語教育の所管を産業部へと移管し、よりきめ細やかな指導体制を整え、内容の充実を図っている。



録画配信はこちらから

質問した項目

- 人口減少社会における外国人材の戦略的受け入れと、自治体としてのガバナンスについて
- 「子ども・子育て支援金」による住民負担増の問題と「子ども政策の適正化」について



人口減少社会における外国人材の戦略的受け入れと、自治体としてのガバナンスについて

問 本市における外国人住民の現状把握と課題について伺う。

答 昨年12月末現在235人で増加傾向にあり、受入段階における社宅整備の支援、受入後の地域社会定着に向けた支援も重要課題である。

子ども・子育て支援金」による住民負担増の問題と「子ども政策の適正化」について

問 令和8年4月より子ども・子育て支援金の徴収が始まり、保険料に上乗せする負担制度は今後加入者全体から徴収され、段階的に引き上げられる。社会保険の仕組みに便乗したステルス増税について本市として物価高騰の中、住民の負担を軽減するため、関係機関への要望等地方からは正を働きかける考えはあるか。

答 国の少子化対策の抜本的な拡充や社会全体で負担を分かち合う制度の主旨そのものは、持続的な発展と安定を図る上で重要な課題と認識している。したがって国等に対し制度の見直し等を要望する考えはない。

保田 直美 議員 (無会派)

質問時間 30分

問 東山総合運動公園内で誘客と交流人口の拡大に向け（仮称）さくらまつりを開催できないか。地域経済の活性化等が期待され検討する余地はあるものと認識している。地域や民間事業者がまず主導する開催が望ましい。



花輪小学校への通学路（館坂）の通行止めについて

問 現在、通行止めとなっているが速やかに改善すべきであり、通行止めはいつまで続くのか。

答 令和7年度に法面の一部で倒木の危険性が確認されたことから、同年8月から通行止めをしている。土地所有者と連絡を取り、作業終了後、令和8年6月末を目途に通行を再開する。

世紀越えトンネルの整備促進について

問 世紀越えトンネルの実現に向け、今後どのような対策を講じるか。

答 産業振興や救急医療、災害時の代替路として極めて重要な役割を持つ路線と認識している。利便性や必要性を強く訴えながら早期事業化に向け、粘り強く要望していく。

大館能代空港へのアクセス手段について

問 インバウンドや国内観光客の利用、市民の利用促進に向け、直接つながるアクセス対策を講じられないか。

答 既存の公共交通機関や予約型乗合タクシーの利用拡大が充実に向けた検討につながるものと考えられる。市ホームページや広報紙等で情報発信を強化し、利用促進に努める。

質問した項目

■世紀越えトンネルの整備促進について ■市道「不老倉線」の整備について ■（仮称）世紀越えトンネル整備構想の策定について ■東山総合運動公園内の桜について ほか



録画配信はこちらから

中山 一男 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問 医療ビジョン策定前に市民にかづの厚生病院の運営の方向性を提示する考えはないか。ビジョンを策定した上で検討を重ね、令和9年度中に方向性が定まった段階でまずは市議会へ提示したい。



高齢者の祝金の廃止について

問 高齢者祝金廃止の決定から実施までのスピードが速すぎたのではないか。市民に丁寧な説明をしてほしいと提言をしたが、説明会開催等の予定はないか。

答 高齢者の安全・安心な暮らしを支えるため、祝金という形での支出よりも今、これからの生活に困難を抱えている方への支援を第一に考えた上での廃止である。問い合わせはあったが、趣旨の説明をし、ご理解を

ただいている。説明会の予定はないが、丁寧な周知に努めていく。

中東情勢による市内企業への影響について

問 中東情勢の影響は市内企業も例外ではないが、現状の調査や分析をしているか。また相談窓口の拡充や伴走型支援、市民への生活防衛策等のケア・支援を考えているか。

答 かづの商工会や鹿角工業振興会など関係団体と連携し、聞き取りや各種調査結果を通じて現状把握に努めている。今後も中東情勢やエネルギー価格、物価動向を注視し、国や県の施策を踏まえ、事業者や市民生活への影響把握に努めながら、必要な支援策を講じていく。

質問した項目

■鹿角市若者議会について ■鹿角市医療ビジョンについて ■高齢者の祝金の廃止について ■中東情勢による市内企業への影響について



録画配信はこちらから

奈良 明日香 議員（新時代かづの）

質問時間 45分

問 上沼地区での風力発電事業について、市長の「中立」は、環境保全責任まで中立とするものでないかと考えるが、認識を伺う。

答 市の立場と環境保全への責務は別問題であり適切に意見を述べる責務を果たしていく。



市の旧花輪鉱山跡地への大型風車建設の危険性の認識について

問 市は地盤の安全性をどう評価し、事業者

に確認を行ったか、また旧鉱山由来の重金属が、工事や建設後の地盤変動により流出しない明確な根拠、流出した際の対応策について追加で求めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 土砂崩れへの懸念に対し事業者からは「ボーリング調査等により地質や地盤強度を把握したうえで、適切に対応する方針である」と見解が示された。重金属類の流出についても国の勧告に従い、適切に調査、予測及び評価を行う等、事業者が必要な対策を含め、検討を進めていると認識している。

問 上沼地区での風力発電事業環境影響評価方法書に対し提出した市長意見の反映状況について

上沼地区での風力発電事業環境影響評価方法書に対し提出した市長意見の反映状況について

問 市は「丁寧かつ十分な説明」「誠実な対応」を求めているが事業者の説明が水準未満の場合どう改善を求めるか。

答 意見は県から国へ提出後、事業者に出されるため、市は事業者と直接的な協議や環境影響評価以外の事業計画に対する意見を述べる権限を有していない。

質問した項目

- 上沼地区での風力発電事業環境影響評価方法書に対し提出した市長意見の反映状況について
- 地域住民への事業説明による住民理解の確保について



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員 (無会派)

質問時間 30分

質問した項目

- 子供の「幸福」日本1位について
- 通学時の安全確保について
- 幼児保育・教育施設運営について



通学時の安全確保について

問 学校統合や熊対策を要因として保護者による車での送迎が増え、大雪に見舞われた昨年度、徒歩通学に対しても道幅減少により多くの危険箇所が発生した。除雪オペレーター

の確保等早急に対応すべきではないか。

答 記録的な大雪により作業が追い付かず道幅の確保が十分出ない状況が続いた。オペレーター不足には、新規事業者の募集や自治会等による担

問 大雪により、危険度が増した倒木や建物崩壊への危険除去の現状と対応は。状況把握に努め、危険箇所が見つかった場合には関係機関と連携し、早急な対応を行うようにしている。

手確保に努めるほか路線の見直し等をし、万全な体制に向け早期から準備を進める。

幼児保育・教育施設運営について

問 保育園・こども園等での鳥獣に対する安全確保は100%大人が対応するしかない。現状の取り組みと今後の計画は。

答 各保育園等が熊対策マニュアルに基づき適切な対応をしている。また避難訓練の定期実施や専門講師の講習等、危機管理意識の向上と安全対策の強化に努めている。今後

も関係機関と出没情報を共有し安全点検や見守りを強化し安全確保に万全を期す。



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員 (新時代かつの)

質問時間 60分

一般質問 栗山尚記議員(新時代かつの)

問

市長就任から1年、市民との対話をどう市政に活かしたか「対話型市政」の自己評価を伺う。

答

真摯に対話を尽くす姿勢を貫き、市民や関係当事者との建設的な議論ができる環境づくりに努めている。



市長就任1年を迎えての所感について

問

前例踏襲に捉われず若手職員の提案や挑戦を市政運営に反映できる組織づくりについて、市長の認識を伺う。

答

鹿角市人材育成基本方針を掲げ、一人一人の能力を最大限に引き出し、挑戦を称え支援する組織づくりに努めている。若手職員の提案が組織成長につながるよう、人材育成と組織運営の両面から取り組みを進める。

空き家対策は「雪国仕様」になっているか

問

空き家からの落雪や積雪時の道路閉塞について市への通報件数や対応状況を伺う。また通報があった場合、所有者や管理者に対し、改善や適正管理に向けた通知・指導等をどのように行っているか。

答

空き家の落雪等に関する相談件数は降雪状況で変動し、大雪となった昨年度は40件の相談が寄せられた。市では現地確認後、所有者等へ早急な対応を求めるほか、生活道路が閉塞するなど緊急時には、市が応急的に除雪作業を行う場合もある。

質問した項目

- 市長就任1年を迎えての所感について
- 空き家対策は「雪国仕様」になっているか



録画配信はこちらから

安保 真希 議員（無会派）

質問時間 30分

問

プッシュ通知で即時性の高いLINEを活用し、熊の目撃情報を配信する考えはないか。7月を目処に、熊出没情報のLINE自動連携配信に向けた体制を整えていく。

答



職員による管内の現場把握について

問

複雑化する地域課題に対し、職員が現場に足を運び実情を把握することは施策の精度向上に不可欠である。市として職員の「現場主義」をどのように位置付け、課題や要望を施策に反映させる取り組みを進めるか。

答

数値情報だけでなく、現場での直接的な把握が真の課題解決につながると認識している。今後はアンケートや地域ミーティングをはじめ、市民との

住民ドライバー制度の導入について

問

部活動やスポーツ少年団活動に伴う保護者の送迎負担が増大しており、活動断念に至る事例もあるが、住民ドライバー制度を活用した送迎支援を検討できないか。

答

児童生徒の安全を確保するために特段の配慮が必要でありドライバーの運転技術や安全意識、トラブルへの懸念も考慮し、住民ドライバーの活用は慎重に検討すべきと考える。

質問した項目

- 今年度の除雪作業について
- 住民ドライバー制度の導入について
- 熊対策について
- 職員による管内の現場把握について



録画配信はこちらから

網木 裕一 議員（新時代かづの）

質問時間 30分

問 今はまだ住んでいる家も、将来に向けた空き家相談はできるのか。

答 市は事前相談にも随時対応しており、今後は住まいの終活支援を推進する仕組みについて検討を進めていく。



問 空き家発生前の相談支援と住まいの終活支援について

答 空き家対策は、管理不全になった後の対応だけでなく、相続、管理、売却、解体、家財整理など、まだ住んでいる段階からの不安に寄り添うことが重要である。空き家バンク再開後、市民はどのような内容をどこまで相談できるのか。

将来的に空き家となる可能性のある住宅について事前相談を受け付けるのか。また、所有者本人や市外家族

に「住まいの終活」や空き家予防の情報を届く形で発信する考えがあるか。

答 空き家バンクは、空き家の流通や利活用を促進する総合窓口として新規受付を再開した。委託先では宅地建物取引士が、維持管理、修繕、売却・賃貸など幅広い相談に助言を行う。空き家発生前の事前相談にも随時対応しており、相続等の専門的な内容については無料弁護士相談等を案内している。

今後は関係機関と連携した終活セミナーや、固定資産税の通知書にチラシを同封するなど、直接的なアプローチも検討していく。

質問した項目

- 空き家発生前の相談支援と住まいの終活支援について
- 地域活性化起業人等の外部専門人材の戦略的活用について



録画配信はこちらから

松村 託磨 議員（無会派）

質問時間 30分

問 観光戦略部として、熊などの鳥獣リスクを戦略にどう位置付けるか伺う。

答 安心感と信頼感は誘客に直結する要素であり、寄せ付けられない対策、早期把握と注意喚起、多言語対応の情報発信を徹底する。



問 鳥獣被害対策を担う人材確保対策と公共サービス・地域産業への転換について

答 若手ハンターの育成には、免許取得後の射撃練習、同行研修など継続的な訓練と経験が必要である。実践型の育成支援制度創設の考えはないか。

答 新規会員の確保と技術継承は喫緊の課題と認識している。市では免許・猟銃所持許可取得支援や講習会開催等で支援しており、今後も猟友会と必要経費等について協議し、外部指導者による

技術講習会の開催も検討する。

問 熊侵入防止対策と公共施設・商業施設のバリアフリー確保について

答 熊侵入防止のため自動ドアを手動化する施設があるが、高齢者や車いす利用者等の利便性低下が懸念される。押しボタン式自動ドアへの改修ニーズ調査や支援制度を検討できないか伺う。

答 押しボタン式への改修はバリアフリーの観点から有効な選択肢であり、市施設では必要に応じて設置を進めている。一方、施設ごとの安全対策は管理者が主体的に行うべきものと考え、改修ニーズ調査や支援制度の創設は考えていない。



録画配信はこちらから

赤坂 勲 議員（新時代かづの）

質問時間 30分

質問した項目

- 部創設に伴う観光戦略について
- 鳥獣被害対策を担う人材確保対策と公共サービス・地域産業への転換について
- 熊侵入防止対策と公共施設・商業施設のバリアフリー確保について

[議案第77号] 令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第3号）

問 (雪害対策緊急支援事業補助金) 補助金は年度を繰越して活用できるものか。

答 補助金は令和7年度雪害対策緊急支援事業の財源で、雪害対策緊急支援事業補助金として県から入ってくるもので、現時点では繰越しは想定していないが状況により検討する。

[議案第77号] 令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第3号）

問 (児童措置費) 家庭的保育施設を選ぶ保護者が増加した要因は。

答 小規模運営により一人一人の発達の状態や体調・体質への細かな対応を行うことが可能であること、コミュニケーションや集団保育に対する不安や特別の事情を抱える家庭、年度途中の保育を希望する保護者からの需要も多くあると分析している。

問 (妊産婦等交通費等支援事業費補助金) 補助は分娩にかかる公共交通機関・タクシーの利用時または宿泊施設等利用時の補助だが、深夜など事業者側が対応できない場合等について対策はあるか。

答 夜間や深夜の緊急時はママサポート119という事前に救急登録する制度を利用し、スムーズな搬送対応ができる状況を整えているが、実際には自家用車で搬送がほとんどである。対策が十分でないと考えており、医療ビジョンの中でアクセス支援検討していく。

問 (妊産婦等交通費等支援事業費補助金) 補助対象は秋田県の2次医療圏である大館市立総合病院と能代厚生医療センターの2カ所での出産に限るとのことだが、盛岡市や弘前市等での出産は補助要件に該当するか。

答 2次医療圏内の医療機関を補助範囲として限定していることから県北については2医療機関を設定している。

[8陳情第7号] ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情

中学校の給食費含め、全額国庫負担してほしいことから採択とすべきとの意見や教職員に求められる負担は多岐にわたり、子供たちに質の高い教育を受けさせるためにも負担を減らし気持ちよく働いていただいたほうがよいと考えることから採択すべきとの意見、教職員を増員することが子供たちのゆたかな学びと学校の働き方改革につながるか疑問である。一律の教職員の増員がなされることで財政が悪化し、将来的に一層の増税を招くことから不採択にすべきとの意見も出された。採決の結果、採択すべきものと決定した。

[議案第77号] 令和8年度鹿角市一般会計補正予算（第3号）

問 (地域公共交通維持確保対策事業) 実証運行中の八幡平地区デマンド型乗合タクシー「はちタク」の住民ドライバーを今後どのように進めるのか。

答 自家用有償運送事業を立ち上げる際に設立した鹿角市八幡平地区デマンド型乗合タクシー運行協議会に対し、地域内からドライバーが出てくるよう働きかけていく。十和田地区においても地域の方々が利用しやすい将来的にも持続可能な公共交通を構築する観点から八幡平地区と同様、検討する基盤を構築の上、ワークショップや勉強会等の取組を進めていく。

問 (園芸振興費) 令和7年度雪害樹園地復旧支援事業費補助金、令和7年度雪害果樹薬剤散布支援事業費補助金の積算根拠は。

答 雪害樹園地復旧支援事業費補助金は県・市合わせて補助対象事業費の4分の3を補助するものであるが、今年の収穫に影響があると見られる中規模以上の被害本数約1万9,000本を対象としこれにリンゴや桃の補植や改植等に要する補助単価等をそれぞれ乗じて予算額を積算している。雪害果樹薬剤散布支援事業費補助金の補助率15%の根拠は被害状況調査による被害割合が15%ほどになった事を受け、設定している。

常任委員会派遣調査報告
(田代平ウインドファーム・
鹿角市個体処理場)

産業建設常任委員会では市内2カ所について派遣調査を行いました。

初めに市内で稼働する田代平ウインドファームを視察し、運営状況や安全対策について説明を受けました。同発電所は2001年に県内で初めて運転を開始したもので、ベスタ社製9基により年間約1500万キロワットアワーを発電し、一般家庭約4400世帯分に相当する電力を供給しています。



田代平ウインドファーム

現在、24年を超えて稼働しており、先行モデルとしてのデータ蓄

積も進められているとのことでした。

現地では風切り音やフリッカーの状況、落雷・火災対策などを確認しましたが、いずれも業者により、適切に管理されている状況でした。

続いて、鹿角市個体処理場を視察し、施設概要と処理工程の説明を受けました。昨年度は熊の出没増加により191頭を処理し、市内捕獲数の約6割を占めています。



鹿角市個体処理場

施設内は、衛生管理や排水処理も適切に行われており、主に大湯・十和田地区の個体が搬入されているとのことであり、一方、搬入されない個体については猟友会により現場等

で解体され、残渣は埋立てと石灰散布により処理されています。

全員協議会

去る6月25日、本市における学校再編について、執行部より説明を受けるため、全員協議会を開催しました。

議員からは、小中それぞれ一校にする案に対し、他の選択肢はなかったかの質問、現在問題となっている部分への今後の対応などの質問、統合後の通学支援に関する質問、小中学生の地域行事への参加に対する今後の対策への質問等が出されました。

また、意見として、小中学校の統合はやむをえないが統合の過程にあたり、当事者である生徒の保護者等若い世代への説明をしっかりととしてほしいという意見、学校を統合していく中で、本市ならではの独自性を持った学校となるようにしてほしい等の意見も出されております。

119番映像通報システム
研修を行いました。



映像通報システムの説明を受ける議員

鹿角広域行政組合消防本部より今年5月25日より運用を開始した119番映像通報システムについて説明を受けました。

このシステムは通報者が撮影した映像を消防に送信する通報の新しい仕組みで、映像が通報者のスマートフォンから消防本部指令センターへ共有されることで言葉では伝えづらい災害現場の状況を明確に伝える、応急手当の指導を行えるようになる等の利点があります。

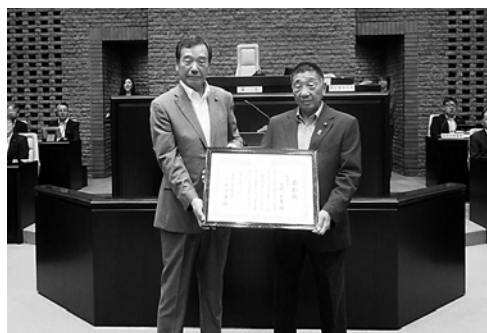
説明を受けた後、実際に119番映像通報

システムを体験し、システムへの理解を深めました。

今後このシステムの活用により、災害現場での迅速な救助・応急処置につながることを期待されます。

議員永年勤続表彰

全国市議会議長会102回定期総会において宮野和秀議員が25年にわたり、市政の振興に尽くされた功績により特別表彰され、定例会最終日の6月25日に表彰状の伝達が行われました。



議員永年勤続表彰を受賞した宮野和秀議員(写真右側)

